鎌倉時代の「薩摩国建久図田帳(1197

年)」に温泉の湧出を記される、長い歴史

を誇る温泉地(湯治場)になります。明治の

偉人・西郷隆盛も西南の役に出陣するま

での間、狩りと温泉を楽しんだと言われて

います。西方海岸から約5キロの静かな山

間に、約800年も前から肌ざわりなめらかな

温泉が湧き出ており、源泉掛け流しを楽し

むことができます。泉質は単純硫黄泉で

PH9.0以上とアルカリ度の高い美人泉。慢

性皮膚病、慢性関節疾患、慢性関節性リ

ウマチなどに良いとされています。野鳥のさ

えずり、ホタルの舞、かじかの鳴き声、蝉し

ぐれなどなど、その時の季節を感じながら、

心ゆくまで癒されてみては。

https://www.sendaitakionsen.com/

制作・発行:せんだい高城温泉よか湯協議会 電話:0996-28-1362(山桜桃)/0996-28-0015(竹屋)

一川内高城温泉

[1]

内

高

城温

泉

0





レトロな旅館建築は川内高城温泉の象徴

薩摩川内市湯田町6462 **~**0996-28-0018 時間/9:00~19:00 休/不定休 料金/大人250円 小人100円

川内高城温泉第一号の湯治宿

2. 旧五助屋

薩摩川内市湯田町6461 € 0996-28-0018 (双葉屋) 時間/9:00~19:00 休/不定休 料金/大人250円 小人100円 ※双葉屋にお支払い下さい ※2015年2月現在立ち寄り湯のみです



_____ 西郷さんは好んで浴槽の隅っこに入った

3. 町営共同湯

薩摩川内市湯田町6763 時間/11:00~19:00 料金/大人200円 小人100円



また来たいと思えるおもてなし

モダンな外観に昔ながらのお風呂

薩摩川内市湯田町6483

時間/7:30~20:20 休/なし

料金/大人300円 小人150円

¢0996-28-0015

6. 竹屋本館

7. 癒しの湯宿しもぞの

薩摩川内市湯田町6477 **€** 0996-28-0368 時間/6:00~21:00 休/なし 料金/大人250円 小人100円



お料理自慢の宿屋

❸. 高城の湯 山桜桃

薩摩川内市湯田町6460 **~**0996-28-1362 時間/6:00~21:00 休/なし 料金/大人350円 小人150円

昔から人気ある竹屋別館の大衆浴場

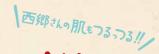
薩摩川内市湯田町6489

時間/6:00~21:00 休/なし

料金/大人400円 小人150円

~0996-28-0015







川内高城温泉

Sendai Taki-Onsen

玄関から館内に真っすぐのびる廊下が印象的

4. 梅屋

薩摩川内市湯田町6467 **~** 0996-28-0016 時間/6:00~20:00 休/なし 料金/大人250円 小人100円



妹背橋の架橋

若い頃の西郷さんは「郡方書役 助」という農政・土木に関する仕事 をしていた。その際に関わったとさ れているのが妹背橋であり、当時は 石橋であった。現在橋は残されて いないが、当時の橋の欄干だけが 新しい橋の近くに保存されている。



川内高城温泉に滞在していた西郷さんは、狩り や入浴以外に囲碁も楽しまれていたという。その 際に使用したとされている碁盤と碁石が滞在し ていた家に伝わっている。西郷さんは温泉で本



西郷さんの大の墓

高城町本町に西郷さんがひいき にしていた家があり、帽子や帯が 残されている。また、西郷さんが 狩りの際にぞろぞろ引き連れてい た犬の中から一匹を預けていた とも。その犬のお墓もあるらしい。



西郷さんは ひょうたんを 欲しがった

うさぎ狩りに出かける途中の陽 成町の並松で、縁側の柱にか かるひょうたんに西郷さんは気 づいたという。その家の主人は 源左衛門さんというひとで、あま りにもかっこいいひょうたんだっ たので、売ってくれと頼んだとい う。ただ、この源左衛門さんは 西郷さんと気づかずに売らな かったらしい。



西郷隆盛の 腰掛石

薩摩街道沿いに西郷さんが腰 掛けたとされている石が残され ている。この家では昔から西郷 さんが腰掛けたものだからと家 の宝として大切に保存してきた という。近くの堂之尾には西南 戦争の戦死者の墓もある。







温泉近くの陽成町にあり、この周辺には 狩りの途中で寄り宿泊したとされている。 家には西郷さんがお風呂に入る際に使 用したとされている踏み台が残されてい る。家から見える一条神社の山を築山の ようだと眺めていたことも伝わっている。

だ一番有名なな 維新の三傑の て隆い盛 温泉好き が る 出か 周辺地域には の訪 でも がれ け川た 知ら 偉人でも 内 ٤ て 3 れ 数 T 61 あ か る西郷 逸話 の そ 0



温泉滞在中に囲碁

当にゆっくりとくつろいでいたということだろうか。











